



10月3日、鳥羽市・漁業と観光の連携促進協議会は、答志島と菅島で水揚げされたサワラのうち脂肪含量が3日連続で平均10%を超えるなどの基準を満たしたサワラをブランド化する「答志島トロさわら宣言」をしました。

ブランド化2年目を迎えた今年はトロさわらのブランド基準を、可食部に傷がないことやサイズの上限を4.0kg以下にするなど、より厳格化し、ブランド価値を高めています。

この日、トロさわらは生産者の船名が記されたブランドタグを付けて出荷され、来年2月末まで出荷される予定です。

2シーズン目 答志島トロさわら宣言！



鳥羽商船高等専門学校が開発したウェブアプリ「とばまっぷ」が全国高等専門学校第30回プログラミングコンテスト都城大会の課題部門で優秀賞のほか、KDDI(株)やさくらインターネット(株)による協賛企業賞を受賞し、令和2年3月にベトナムで開催される国際大会への出場が決まりました。リーダーの高橋剛さんは「最優秀賞とならず悔しいですが、国際大会に向けて頑張りたい」と話しました。

「とばまっぷ」は住民情報や公共施設などのデータを地図上で見える化したシステムで、市と連携して開発されました。今後、市政で活用されます。

鳥羽商船高等専門学校がとばまっぷ開発



10月20日、保健福祉センターひだまりでよい歯のコンクール表彰式が行われました。親と子のよい歯のコンクール部門では、屋内町の藤村比呂奈さん・柚暖さん、菅島町の木下紋加さん・優伸さんの2組の親子が優秀賞を受賞しました。また、よい歯の児童生徒部門では、中川望来さん、松本向日葵さん、歯と口の健康に関する図画ポスター部門では、岡山実緒さんがそれぞれ最優秀賞に選ばれました。今後も8020を目指してみんなでお口の健康に取り組みしましょう。

ハチマルニイマル 8020運動 保とう健康な歯



9月26日、ネパールの視察団10人が市長室を表敬訪問しました。

視察団はネパールでの有機農業促進を目的として、生ごみを使った堆肥生産を学ぶために鳥羽を訪れました。ダワ・ドルチェ・ラマ農林大臣は「ごみの堆肥化は取り組まなくてはならない課題。日本の技術を参考に無農薬生産を目指したい」と話し、中村市長は「今後も情報交換し、リサイクルパークを通じて交流を続けたい」と歓迎しました。

その後、リサイクルパークで堆肥化や分別の仕組みについて説明を受け、施設内を見学しました。

ネパール視察団がリサイクルパーク見学